

目 次

1. はじめに	1
2. コンテナターミナルエリア規模推計モデルに関する既往の文献、基準等の分析	2
2.1 既往の文献、研究の整理	2
2.2 既往の文献、基準等におけるコンテナターミナル規模推計に関する主要内容	2
2.3 既往の文献、基準等に対する評価	5
3. 国内外のコンテナターミナルの分析	12
3.1 国内外のコンテナターミナルの図面化	12
3.2 エプロンエリア	12
3.3 マーシャリングエリア	13
3.4 バックヤードエリア	13
3.5 ターミナルエリア幅	14
4. コンテナターミナルエリア規模推計モデル	33
4.1 推計モデルの基本概念	33
4.2 バース長	33
4.3 バース水深	34
4.4 エプロンエリア幅	34
4.5 マーシャリングエリア幅	35
4.6 バックヤードエリア幅	36
4.7 コンテナターミナルエリア幅	37
5. コンテナターミナルエリア規模推計モデルによる事例解析	41
6. コンテナターミナルエリア規模推計モデルの トランシップ対応型コンテナターミナル（PTT）への適用の可能性	43
6.1 PTT（Pure Transhipment container-Terminal）の概念	43
6.2 世界のPTTの実態分析	43
6.3 PTT計画への規模推計モデルの適用の可能性	43
6.4 PTT計画への規模推計モデルの適用に対する評価	45
7. おわりに	46
謝辞	46
参考文献	46
付録A	47
付録B	79

